

# キズ取りディスク・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社  
兵庫県丹波市山南町谷川1385  
Tel: 0795-77-2151

作成日: 2009年12月11日

変更日: 2025年1月9日

整理番号: MSDS-Z189

## 危険有害性の要約

危険性: 危険性は極めて低い。

有害性: 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。

研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。

環境影響: 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

【GHS 分類】 (構成純物質について)

別表参照

【GHS ラベル要素】 (構成純物質について)

別表参照

## 1. 研磨材成分 (構成1)

キズ取りディスクは、ポリビニルアルコールを 結合剤とした砥石で砥粒、結合剤、気孔によって構成されています。			
物質の特定	成分	重量比率 (%)	容積比率 (%)
砥粒	C (炭化ケイ素系)	70~88	10~40
結合剤	ポリビニルアルコール	12~30	10~15
気孔		—	45~80

## 2. 砥粒の化学成分

化学成分		物理特性	
SiC	FreeC	ヌープ硬度	比重
98.87%	0.09%	2500	3.2

### 3. 基 盤（構成2）

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 混合物		
	成分	含有量 (%)	CAS No.
	ガラス長繊維(アルミナほう珪酸ガラス)	70 ± 2%	65997-17-3
	フェノール樹脂 (フェノール・ホルムアルデヒド樹脂)	30 ± 2%	9003-35-4
危険性情報	発火点	464℃	
	発火性	自然発火性：なし。 水との反応性：なし。	
	酸化性	なし。	
	自己反応性・爆発性	なし。	
	粉塵爆発性	なし。	
	安定性・反応性	常温・常圧で安定。	

### 4. 接 着 剤（構成3）

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 混合物	
	化学名	エポキシ樹脂系二液型接着剤
	成分	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
危険有害性の分類	分類の名称	その他の有害物質
	危険性	可燃性液体（危険物第四類第四石油類）
	有害性	吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがある。
危険性情報	引火点	206℃
	安定性	通常の条件では、安定
	反応性	硬化剤とはかなりの発熱を伴って反応する。 急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずることがある。

### 5. キズ取りディスク（完成品）

危険・有害性の分類	分類の名称	: 分類基準に該当しない。
	危険性	: なし
	有害性	: 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。

<p>応急措置</p>	<p>眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。</p> <p>吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 適用しない。</p> <p>応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。</p>
<p>火災時の措置</p>	<p>消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。</p> <p>消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤</p> <p>火災時の処置に関する特記事項 適用しない。</p>
<p>漏出時の措置</p>	<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 作業の際には適切な保護具を着用する。</p> <p>環境に対する注意事項 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地、河川等への流出を防止する。漏れ出した物質が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。</p> <p>封じ込め及び浄化の方法及び機材 掃き集めて、容器に回収する。</p> <p>二次災害の防止策 漏出物を回収すること。</p>

<p>取扱い及び 保管上の注意</p>	<p>取扱い</p> <p>技術的対策</p> <p>(取扱者のばく露防止)</p> <p>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(火災・爆発の防止)</p> <p>熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。</p> <p>(局所排気、全体換気)</p> <p>排気/換気設備を設ける。</p> <p>(注意事項)</p> <p>皮膚に触れないようにする。</p> <p>眼に入らないようにする。</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。</p> <p>取扱中は飲食、喫煙してはならない。</p> <p>接触回避</p> <p>「10.安定性及び反応性」参照。</p> <p>保管</p> <p>安全な保管条件</p> <p>容器を密閉しておくこと。</p> <p>直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。</p> <p>該当法規に従って保管すること。</p> <p>安全な容器包装材料</p> <p>破損や漏れのない密閉可能な容器を使用する</p>
-------------------------	---

<p>ばく露防止及び 保護措置</p>	<p>許容濃度</p> <p>炭化ケイ素 (409-21-2) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 吸入性粉塵 2 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 8 mg/m<sup>3</sup> ACGIH TLV : 10 mg/m<sup>3</sup> TWA 1986</p> <p>硬化済み接着剤 (CURED AD1) 日本産業衛生学会 許容濃度 TWA : 設定されていない ACGIH TLV : 設定されていない</p> <p>設備対策 硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。</p> <p>保護具</p> <p>呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。 半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>
-------------------------	--

<p>物理的及び 化学的性質</p>	<p>基本的な物理的及び化学的性質に関する情報</p> <p>物理状態：固体～粉末</p> <p>色：白色～淡黄色</p> <p>臭い：無臭</p> <p>融点/凝固点：(decomposes) &gt; 200°C</p> <p>沸点又は初留点データなし</p> <p>沸点範囲データなし</p> <p>可燃性（ガス、液体及び固体）データなし</p> <p>爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし</p> <p>引火点：(ポリビニルアルコール)(O.C.) 79°C</p> <p>自然発火点：(ポリビニルアルコール)440°C(層状) 520°C(浮遊状態)</p> <p>分解温度データなし</p> <p>pH データなし</p> <p>動粘性率データなし</p> <p>溶解度：</p> <p>    水に対する溶解度：易溶</p> <p>    溶媒に対する溶解度データなし</p> <p>n-オクタノール/水分配係数データなし</p> <p>蒸気圧データなし</p> <p>密度及び/又は相対密度：1.19 through 1.31g/cm<sup>3</sup></p> <p>相対ガス密度(空気=1)データなし</p> <p>粒子特性データなし</p> <p>その他のデータ</p> <p>    その他のデータなし</p>
------------------------	---

<p>安全性及び 反応性</p>	<p>反応性 データなし</p> <p>化学的安定性 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。</p> <p>危険有害反応可能性 粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。 加熱や燃焼により、分解する。有毒なフュームを生じる。酸化剤および強酸と反応する。(ICSC1489)</p> <p>避けるべき条件 混触危険物質との接触。 火源との接触。</p> <p>混触危険物質 強酸、酸化性物質</p> <p>危険有害な分解生成物 炭素酸化物</p>
<p>有害性情報</p>	<p>眼に入った場合 本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。 眼の機械的刺激：症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。 研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合 皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。 器械的な皮膚刺激：症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合 吸入した場合の健康障害は予想されない。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合 本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報 本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>

環境影響情報	生態毒性 生態毒性データなし 水溶解度 よく溶ける (ICSC, 2004) 残留性・分解性 残留性・分解性データなし 生体蓄積性 生体蓄積性データなし 土壌中の移動性 土壌中の移動性データなし 他の有害影響 オゾン層への有害性データなし
廃棄上の注意	化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 廃棄物の処理方法 内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
輸送上の注意	国連番号、国連分類 国連番号または ID 番号：該当しない IMDG Code (国際海上危険物規程) 国連番号または ID 番号：該当しない IATA (航空危険物規則書) 国連番号または ID 番号：該当しない 環境有害性 海洋汚染物質 (該当/非該当)：非該当 国内規制がある場合の規制情報 船舶安全法に該当しない。 航空法に該当しない。
適用法令	当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令 毒物及び劇物取締法 該当しない。 労働安全衛生法 特化則 特定化学物質(第 1 類・第 2 類・第 3 類)に該当しない 有機則 有機溶剤等(第 1 種・第 2 種・第 3 種)に該当しない 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。 化学物質管理促進(PRTR)法 該当しない。 消防法 指定可燃物 合成樹脂類_その他のもの (酸素指数 26 未満のもの) (数量 3,000kg)
その他の情報	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。



構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○ 炭化けい素	○ ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
-----------	------------	------------------------

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高压ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類できない
可燃性固体	区分外	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外	分類できない
自然発火性液体	分類対象外	分類できない
自然発熱性固体	区分外	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外	分類対象外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	分類対象外	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分 2B
呼吸器感受性	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない	区分外
発がん性	区分 1B	分類できない
生殖毒性	分類できない	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器系)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(肺)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	区分 1
水生環境慢性有害性	分類できない	区分 1

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	警告
危険有害性情報	発がんのおそれ 呼吸器系の障害 長期又は反復ばく露による肺の障害	皮膚刺激 眼刺激 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

